

学校名	只見町立只見小学校
授業者	加藤 健

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

森の植物や生き物をさがそう

1-2. 学年

第3・4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

3・4学年の総合的な学習の時間では、自然豊かな只見町の生き物や植物、樹木などを観察して調べる活動を通して、只見の自然のすばらしさやそれぞれのつながりを感じ、生態系のバランスの大切さや、只見の豊かな自然を支えている水資源が海へつながり、循環していることを理解することがねらいである。

本単元は、自分たちが住んでいる只見町に生息する生き物や、生育する植物、樹木について調べ、只見町には豊かな自然があることや、数多く生き物が生息していることに気づき、それぞれの特徴についてまとめていく。まとめた資料を分類していくことで、それぞれがつながっていて、それを支えている水が海へつながり循環していることに気付くようにする。そこで、実際に「奥会津ただみの森キャンプ場」や「下福井観察の森」に行き、見たり触ったりして五感を使って観察をする。こういった体験活動を通して学習することで、改めて只見の自然のすばらしさを実感できるようにしていく。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本単元では、ゲストティーチャーと一緒に観察したり、特徴をまとめる際にゲストティーチャーにアドバイスをもらったりしながら学んでいく。そうすることで、ふだんは気付かない只見町の自然の豊かさや動植物の多様性に気づき、それらがバランスよく生息、生育していくことの大切さについて考えることができるようにしていく。また、只見町の豊かな自然を支えている水は海へつながり、循環していることにも気付かせたい。そのために本時では、これまで学習してきた生き物や植物、樹木について振り返り、生き物、植物、樹木についてまとめたワークシートを模造紙の上に水質と関連付けて分類していく。

只見の豊かな自然について学びを深めてきた子どもたちの視野を広げ、次の単元につなげていくために、その自然を支えている水が循環によってもたらされていることや、その循環を通して他の地域や海とつながっていることに気付かせたい。そこで、本時で共有した模造紙を基に、只見の豊かな自然を支えているものについて問いかけていく。そうすることで、次時以降、それらに親しみ、主体的に関わっていこうという思いをもつことができるようにしていきたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- タブレットや図鑑などを使って調べたり，ゲストティーチャーにアドバイスをもらったりしながら，観察したことを詳しくまとめ，樹木や植物，生き物の特徴，それらと水との関わりについて理解する。

【知識及び技能，多様性・相互性，コミュニケーションを行う力，海を知る(環境)】

- 「奥会津ただみの森キャンプ場」や「下福井観察の森」を散策して学習してきたことをまとめ，分類していくことで，生態系のバランスの大切さや豊かな自然を支えている水が海へつながり，循環していることについて考えることができる。

【思考力・判断力・表現力等，多面的・総合的に考える力，海を守る(環境)】

- 自分たちの住んでいる只見町に生息している生き物や，生育している植物，樹木，それらと水との関わりに興味をもち，意欲的に探究活動に取り組もうとする。

【学びに向かう力・人間性等，進んで参加する態度，海に親しむ(環境)】

1-7. 単元の展開 (全11時間)

時数	主な学習内容	評価規準及び評価方法
2	・「奥会津ただみの森キャンプ場」を散策する。	c 生育している様々な樹木や植物の葉などの特徴に興味をもち，意欲的に観察をすることができる。(行動観察・発言)
2	・「下福井観察の森」を散策する。	c ブナ林の様子や，生育している様々な樹木や植物の葉などの特徴に興味をもち，意欲的に観察をすることができる。(行動観察・発言)
1	・「奥会津ただみの森キャンプ場」や「下福井観察の森」散策で分かったことをまとめる。	a タブレットや図鑑などを使って調べたり，ゲストティーチャーにアドバイスもらったりしながら，観察したことを詳しくまとめて，特徴を理解することができる。(ワークシート)
2	・「奥会津ただみの森キャンプ場」を散策する。	c 生息している生き物の特徴に興味をもち，意欲的に観察をすることができる。(行動観察・発言)
2	・「下福井観察の森」を散策する。	c ブナ林の様子や，生息している生き物の特徴に興味をもち，意欲的に観察をすることができる。(行動観察・発言)
1	・「奥会津ただみの森キャンプ場」や「下福井観察の森」散策で分かったことをまとめる。	a タブレットや図鑑などを使って調べたり，ゲストティーチャーにアドバイスもらったりしながら，観察したことを詳しくまとめて，特徴を理解することができる。(ワークシート)
1 本時	・ 調べてまとめてきた生き物や植物，樹木を分類して，生態系のバランスの大切さに気付く。	b 「奥会津ただみの森キャンプ場」や「下福井観察の森」を散策して学習してきたことをまとめたメモを共有し，分類していくことで，生態系のバランスの大切さに気付くことができる。(発言・ワークシート)

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

観察して、調べてまとめてきた生き物や植物、樹木などのカードを、一枚の模造紙の上で分類し話し合うことで、生態系のバランスの大切さに気付くことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 前時までの活動を振り返る。</p> <p>2 めあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>生き物と植物、樹木のつながりはどうなっているのかな。</p> </div>	<p>○ 「ただみの森キャンプ場」や「下福井観察の森」で観察してきた生き物や植物、樹木をまとめた掲示物で、今までの学習を振り返ることで、本時の学習意欲を高めるようにする。</p>
<p>3 観察して調べてきた生き物や植物、樹木を一枚の模造紙に分類し共有して、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水がきれいなところに生息している生き物がいる。 ・ あまり水質の良くないところに生息する生き物もいる。 ・ 植物をえさにしている生き物もいる。 ・ 樹木が生き物のすみかになっている。 など 	<p>○ 掲示物を縮小したメモを使用することで、分類の作業がスムーズにできるようにする。</p> <p>○ 只見町の生き物や植物、樹木の特徴まとめたカードを模造紙の上で分類することで、それぞれのつながりに気付きやすくする。（手立て）</p> <p>○ 水質が関係ない生き物や、植物や樹木を枯らしてしまう生き物などは生存しなくてもいいのではないかという発問をし、子供たちの思考をゆさぶることで、それぞれのつながりにも目を向けやすくする。（手立て）</p> <p>◆ 観察して、調べてまとめてきた生き物や植物、樹木などを、模造紙の上で共有し話し合うことで、生態系のバランスの大切さに気付くことができる。（発言・模造紙）</p>
<p>4 只見町の自然が豊かな理由や水循環について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブナ林からのきれいな水が関係している。 ・ 豊富な雪解け水が関係している。 ・ 只見川は尾瀬から流れてきていて海までつながっている。 	<p>○ 昨年度の総合的な学習の時間や社会科で学習したことを想起させることで、只見の自然を支える水が循環していることやその循環を通して海や他地域とつながっていることに気付くことができるようにする。</p>

<p>5 本時を振り返り,分かったことや気付いたこと,感じたことをワークシートにまとめる。</p>	<p>○ 本時の感想を記入して発表し,思いを交流させることで,次の単元への学習意欲を向上できるようにする。</p>
---	---

3. 今回の活動の自己評価

- 樹木について調べる際に, 図鑑やタブレットでは調べきれない情報を, ゲストティーチャーに聞くことで, 新たな情報を得ることができた子どももいた。
- 樹木を調べる際に, 安易にゲストティーチャーに頼るのではなく, まずは自分たちでできる限り調べる姿が多く見られた。
- 生息地や葉の特徴などの視点をしっかりとつことができたので, 意欲的に活動に取り組んだり, 発表方法を工夫したりすることができた。
- これまでの学びを基に, 水や他の生き物との関わりについて考え発表する姿から, 多様な視点からものごとを捉える素地が養われつつあること窺える。
- 何度も散策に出て, 実際に樹木などに触れたことで, 調べ学習にも意欲的に取り組むことができた。
- ゲストティーチャーを活用するタイミングが難しく, 子どもたちはあまり積極的に聞くことができていなかった。
- 子供たちの情報の補足のためのゲストティーチャーだったが, 自分たちが調べたことが本当かどうかを確認するために活用してもよかったのではないかと考える。
- 「水は関係ない」と発表する子どもがいた。その際, 関係をどのように捉えているのか問いかけていれば, 水との関わりという視点を全体で共有でき, 学びが深まったと考える。



4. 今後の課題

只見の自然や生き物に詳しいブナセンターの方をゲストティーチャーとして招き、子供たちがタブレットや図鑑で調べきれない情報を補足していただくことで、ブナなどの樹木の特徴をさらに詳しく理解し、まとめることができるようにした。これらのような学びができるようにすることで、自分たちで観察してきた樹木などをより詳しい特徴などに気付くことができ、只見のよさを感じるとともに、樹木などの大切さに気付くことができた。しかし、只見に対する興味関心は高まったが、思考が只見で止まってしまい、海とのつながりといった意識付けが弱かった。



5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

--